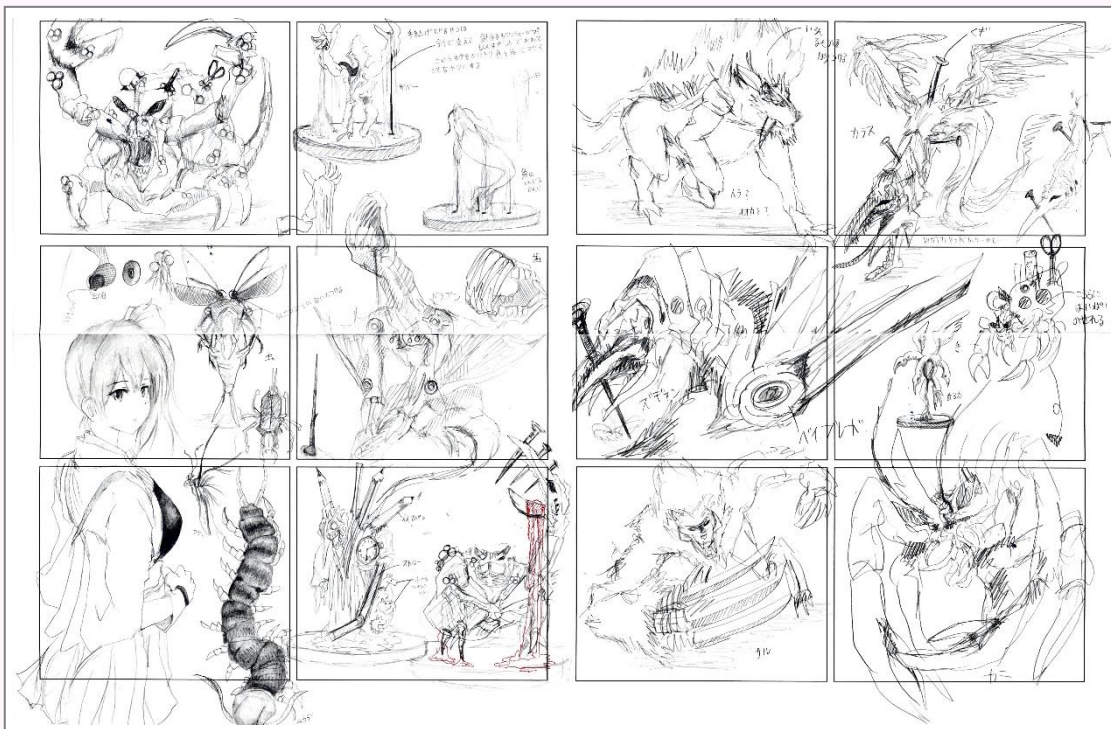




**ポイント②** : スケッチブック等を気軽に活用できるようにしましょう。

主題を生み出したり、アイデアを広げたりする段階で、表現することに抵抗感がある生徒もいます。学校で使用しているスケッチブック等は、とにかく気軽に描いてよいものという意識をもたせましょう。他者への説明的な表現、イメージする言葉などを、自由に表現してよいということを伝えましょう。



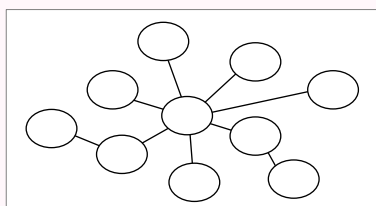
立体での表現の題材におけるスケッチの例

思いつくままに自由に表現していることがわかりますね。日頃から、スケッチブック等は、豊かに発想するために自由に使えるものだという意識をもたせたいですね。収集した情報などと併せるとポートフォリオとして生かすこともできますね！

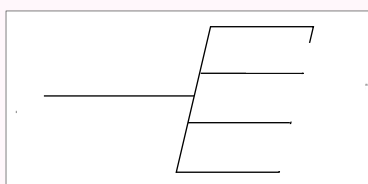


**ポイント③** : 「思考ツール」を使ってみましょう。

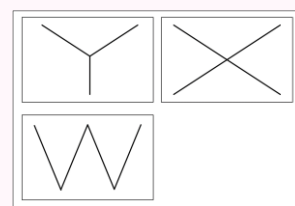
思考ツールには、幅広い多様なアイデアを生み出すときに用いる「イメージマップ（ウェビング）」、多様な視点から考えたり、複数のアイデアを出したりするときに用いる「クマ手チャート」、対象について多様な視点から考えたことをリストアップし、新しい考えを生み出すときに用いる「X/Y/Wチャート」など、様々なものがあります。目的に合わせて活用しましょう。



イメージマップ（ウェビング）



クマ手チャート



X/Y/Wチャート